

No.2411 裏六甲・赤子谷～太平山～座頭谷

平成26年4月27日(日) 晴れ

参加者： 佐々木(L) 榎谷、嶋原、岡本、右田、山城(記)

JR生瀬駅前9:30集合。集まった顔ぶれに私はへこみそうです。カクテルの若者？達に囲まれ、紅？一点の私がよたよたと遅ればせながら歩く様が脳裏に浮かぶ。

大きく息を吸う。武庫川沿いのR176は日曜日でも相変わらず大型車が頻繁に走る。太田川の出合で左折し、太田川に架かる橋を渡り南へ直進、坂道の突当たりには白い門扉があって其処が赤子谷の入り口でした。

水量もほどほどで歩き易い。ほどなく現れた堰堤はよじ登って降りたり悪場にはトラロープがついている。明るくなかなか楽しい谷です。分岐では水が流れているほうの左俣を辿る。

堰堤と巻き道、赤子滝8m位か(休憩)ゴルジュの廊下と小滝.小滝..進むうちに傾斜もキツくなり水がチョロチョロになりどうやら此処辺りが源頭らしい。ケルンがあり尾根道に這い上がる最後の詰めがちょっとしんどい！が縦走路に出た。



(左俣の沢筋)

男性群は岩倉山へも登っていった。縦走路を西へ進んで行くうちに山椒やコシアブラを見つける。頃合いの場所でお昼にしたが嶋原、岡本両氏が居ないのに気づく「山菜でも採りに行ったのかな？」昼食を食べ終わりそうになってから戻って現れた。

「山頂で飲んで待ってた」そうです。(携帯電波の届かない所でした)「今朝自分で揚げてきたんや」と嶋原さんがタラの天ぷらを持って来られた。皆でいただき春を味わう「ごちそうさん」。

先日、名色まで行って摘んできた高価な？食材でした。

午後から大平山(881.8m)へ。山頂から南の方角には社家郷山、檜ヶ峰、甲山と、はてさて阪神競馬場までも眺められた。

座頭谷への分岐をリーダーが慎重に確かめ笹原に行く。そして笹道を抜けた先からは超急坂を下る事になり2本のストックの威力に助けられ下った。林を抜けて車道に出ると近くにハニー農園が在って10年程前に蜂蜜を買った思い出がある。



(座頭谷)

当時は友達3人で逆コースを登ったが其の一人は逝って、もう7年が過ぎた。座頭谷の核心部に入るがやはり今も圧倒される景観なのである。新たに広い堰堤が出来ていたが中程の剣山がひとつ削られてなくなっている『自然は変化する』堰堤工事が多いのだ。

ガラ場を通過して座頭谷の入り口に出た。西方向には蓬萊峡があり私にとって、テント泊し岩登りやアイゼンで剣山を歩くことに、びっくりした初体験。あれから？年かな。

バス停しるべ岩に着いたがバスは行ったばかりだったので生瀬駅まで歩くことにしました。

宝塚駅で解散。お疲れさまでした。